

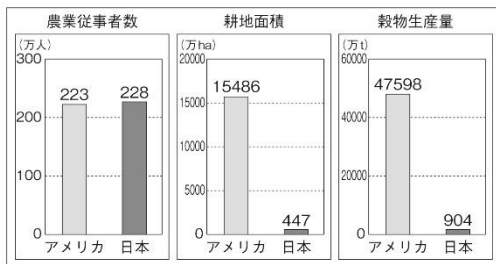
基本問題

- ① アメリカでは自然環境と社会的な条件に対応した農業が行われている。このような農業を何というか。
- ② アメリカの南西部で見られる、とうもろこしなどを飼料として出荷前に子牛を太らせるための大規模な肉牛肥育場を何というか。
- ③ アメリカは、小麦やとうもろこし、大豆などの多くの農産物を世界各国へ輸出していることから何とよばれるようになったか、書きなさい。
- ④ ハイテク産業や情報技術産業などが発達している、北緯 37 度より南に位置する温暖な地域を何というか。
- ⑤ カリフォルニア州のサンフランシスコ郊外にある先端技術産業地域を何というか。
- ⑥ 19世紀以降、アメリカの都市であるデトロイトとピッツバーグでさかんになった工業は何か。次の【 】の中からそれぞれ1つずつ選んで書きなさい。  
【 航空宇宙産業 鉄鋼業 紡績業 自動車工業 石油化学工業 】
- ⑦ アメリカでは、産業の中心が ICT を活用した新しいサービスに変化しつつある。この ICT とは何か、漢字で書きなさい。

①	適地適作	②	フィードロット	③	世界の食糧庫	④	サンベルト
⑤	シリコンバレー	⑥	自動車工業	⑦	鉄鋼業		情報通信技術

発展問題

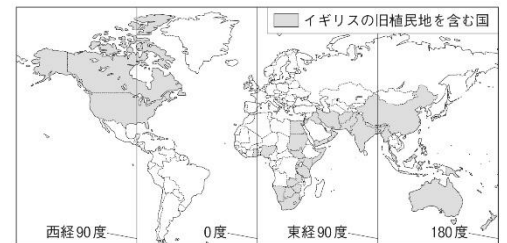
資料 1



資料 2

企業名
Google
Apple
インテル
Yahoo!
Amazon

資料 3



- ① 資料 1 から、アメリカと日本の農業の違いを、農業従事者 1 人あたりの耕地面積、穀物生産量それぞれの点から書きなさい。
- ② アメリカ西海岸のカリフォルニア州などで行われている農業を何式農業というか。
- ③ 資料 2 のような企業が集まっている、サンフランシスコの南に位置する地域を何というか。
- ④ アメリカでは、特に ICT 産業においてインドやオーストラリアなどの企業との連携がさかんで、ほぼ 24 時間体制で業務を進めている。アメリカの企業がインドやオーストラリアの企業と連携する理由を、資料 3 を参考にして、歴史的背景と言語からの観点、地理的な観点からそれぞれ書きなさい。

①	耕地面積	(例) アメリカは、日本と比べて農業従事者 1 人あたりの耕地面積が大きい。
	生産量	(例) アメリカは、日本と比べて農業従事者 1 人あたりの穀物生産量が多い。
②	地中海式農業	③ シリコンバレー
④	歴史的	(例) インドやオーストラリアはイギリスの旧植民地だったため、英語を公用語としており、英語を話す人材が多いから。
	地理的	(例) インドやオーストラリアとアメリカとの間で時差があるため、時差を活用して業務を継続的に進めるから。